

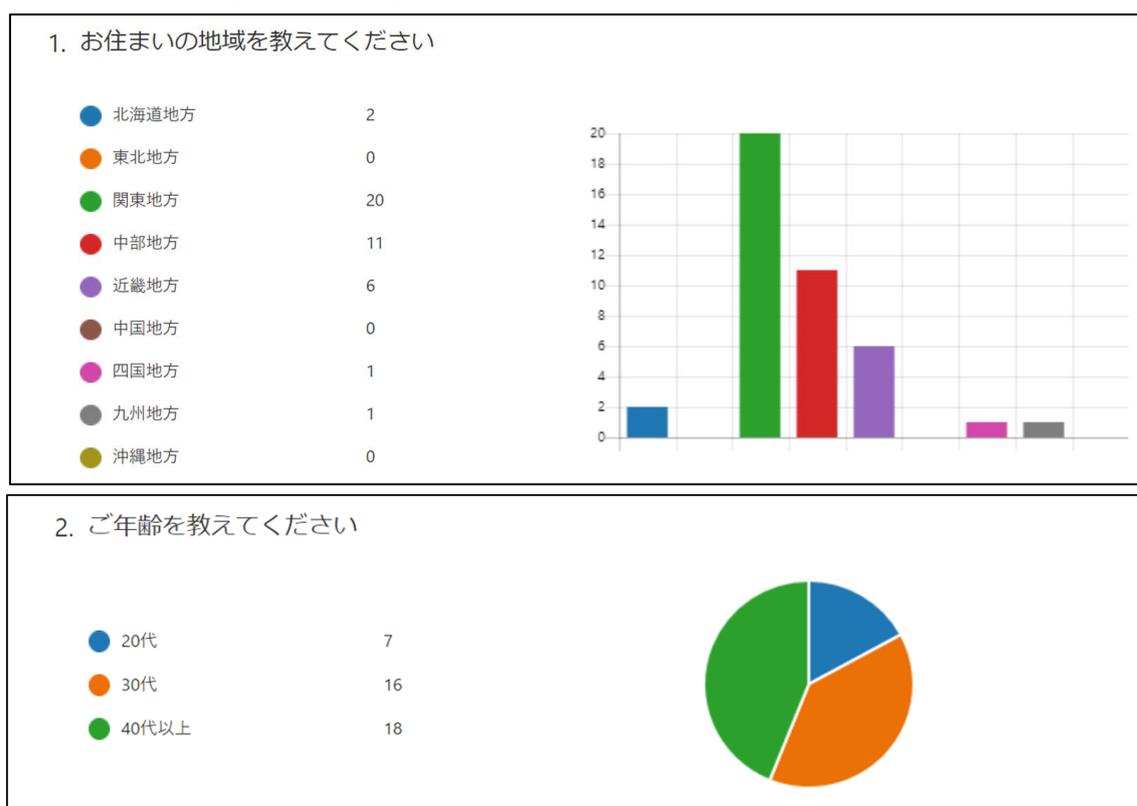
【社会人の行動調査アンケート】ゴールデンウィーク「外出をほとんどしていない」と回答したのは昨年の半分。「コロナ慣れ」が顕著に出ているが、年代による偏りはない。

答したのは昨年の半分。「コロナ慣れ」が顕著に出ているが、年代による偏りはない。

コミュニケーションスクール「コミュトレ」を運営している株式会社アイソルート（代表取締役野田雄彦、以下「当社」）は、20代から40代以上の社会人を対象に、ゴールデンウィーク（以下GW）の行動に関するアンケート調査を実施しました。

以下は、調査期間2021年5月23日に、当社の講義参加者である、男女41名から回答を得たものです。

回答者の「住まい」「年齢分布」は以下の通りです。

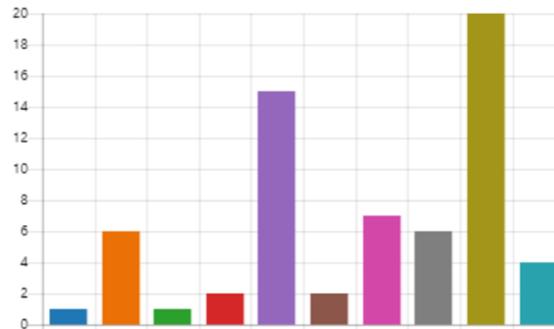


【調査結果】

1. 2020年と2021年のGWの行動について比較。

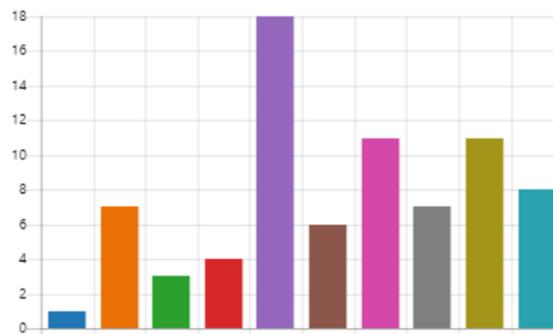
3. 昨年2020年のゴールデンウィークはどこかに外出しましたか？（複数回答可）

● 繁華街	1
● 大型商業施設	6
● イベント	1
● 劇場・映画館	2
● 近くのスーパー・商業施設	15
● キャンプ・登山・海岸など自然	2
● 近くの公園	7
● 帰省	6
● 外出をほとんどしていない	20
● その他	4



4. 今年2021年のゴールデンウィークはどこかに外出しましたか？（複数回答可）

● 繁華街	1
● 大型商業施設	7
● イベント	3
● 劇場・映画館	4
● 近くのスーパー・商業施設	18
● キャンプ・登山・海岸など自然	6
● 近くの公園	11
● 帰省	7
● 外出をほとんどしていない	11
● その他	8



2020年と2021年のGWの行動アンケートをとることで、実際に「コロナ慣れ」が起きているのかどうかを調査した。

「外出をほとんどしていない」と回答があったのは、2020年の20名から大幅に下がり、2021年では11名であった。

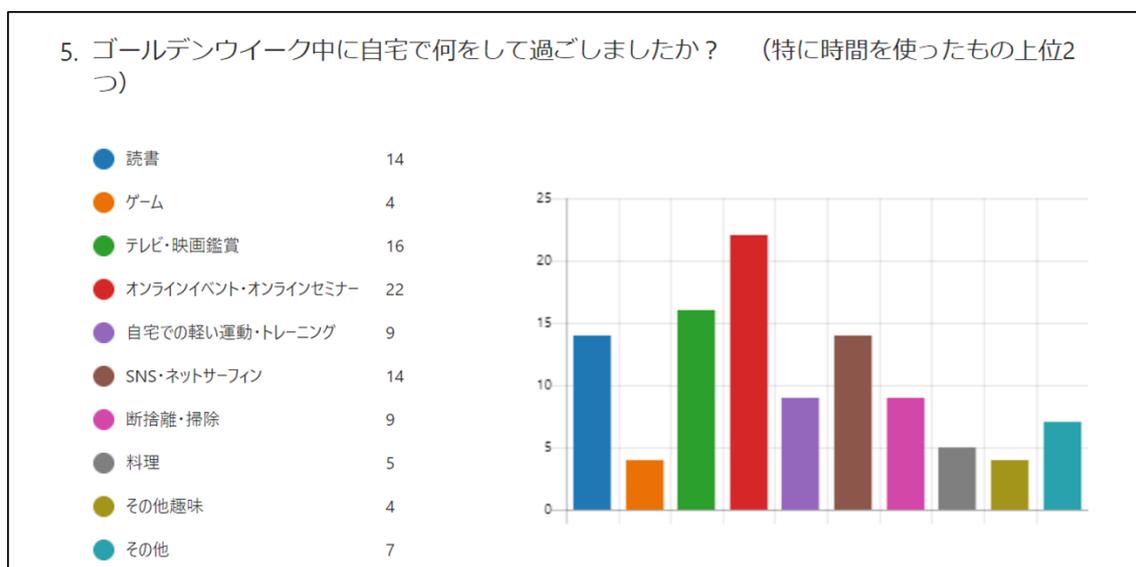
「イベント」「劇場・映画館」「キャンプ・登山・海岸など自然」へ外出したという回答が大幅に上がっており、2020年は5名であったところ、2021年は13名になっている。

昨対比で2.6倍が、レクリエーション目的での外出をしているという結果。昨年よりも、明らかに「コロナ慣れ」の減少は起きている。

年代別にみていると、2021年の調査で「外出をほとんどしていない」を選んだのは、20代は42%（7名中3名）、30代は37.5%（16名中6名）、40代以上は44%（18名中8名）であった。

今回の調査では、社会人においては、特に若者に「コロナ慣れ」が偏っているという結果は見られなかった。

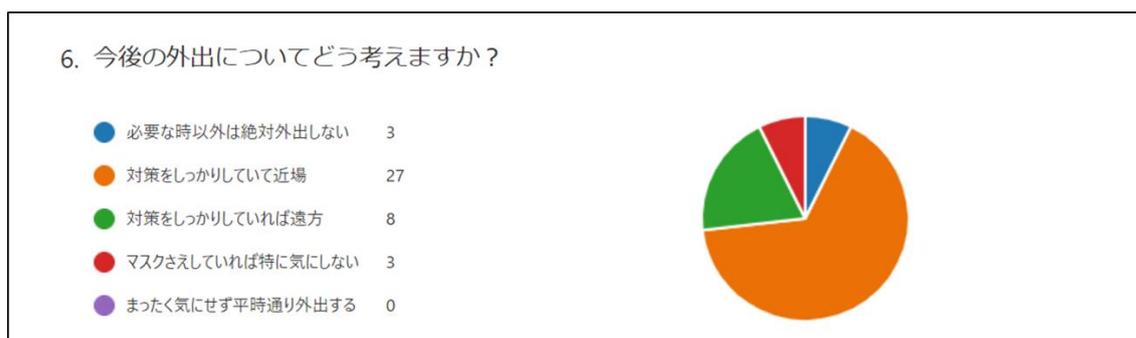
2. GW中の自宅の過ごし方について



コミュニケーションスクール「コミュトレ」の受講生であるため、41名中21名が、「オンラインイベント・オンラインセミナー」に参加しているという結果になった。

他の結果では、「テレビ・映画鑑賞」「読書」「SNS・ネットサーフィン」が多い。普段、自宅で行っていることに、より時間をかけた結果となった。

3. 今後の外出の判断基準について



「対策をしっかりしていれて近場」（交通機関を極力使わない）が全体の 65.8%と圧倒的に表を集めた。今後は、都市圏や繁華街には出ないが、地元の商業施設や近所の公園に人が集まる傾向になりそうだ。

今回の結果が、今後の行動について、改めて考えるきっかけになればと思う。

【調査実施：コミュトレについて】

株式会社アイソルートが運営するコミュニケーションスクール「コミュトレ」では、日本のビジネスパーソンのコミュニケーション能力を向上させるべく、目的ごとに 17 種類のコースを設け、実践トレーニングを行ってきました。受講生は実際にキャリアアップや職場の人間関係向上など、一定の成果を上げています。

会場トレーニング：東京、大阪、名古屋／オンライントレーニング：全国

本件に関する問い合わせ先

株式会社アイソルート コミュトレ推進部 広報担当 高原淳志

お電話: 03-6276-6200

メール: kouhou@isoroot.jp